



1950 秋田県に生まれる／1973 旺玄展初出品 新人賞 以後連続出品(牧野賞、旺玄会賞、文部大臣奨励賞、他受賞)／1974 玉之内満雄先生に師事／1981 第24回安井賞展('84・'90)、第1回東京セントラル油絵大賞展('83)／1983 第18回昭和会展招待出品('85・'87・'89)／1984 第1回浅井忠記念賞展 優秀賞受賞／1989 第19回現代日本美術展('92)、第1回ジャパン大賞展 佳作賞／1997 第16回安田火災美術財団奨励賞展 新作秀作賞／2007 第8回小磯良平大賞展／2012 公募団体ベストセレクション美術2012(東京都美術館企画)／2013 第10回熊谷守一大賞展 賞候補／2015 中野中氏企画 我が心の旅路展('16・'17)／2015 金谷美術館コンクール審査担当('16~'18)／2016 秋田県立近代美術館主催2016コレクション展 第1期 斎藤寅彦「時の跡」／2017 視点<鼎の眼>展(あかね画廊、ギャラリー唐橋 '18)／現在 一般社団法人旺玄会常任委員、日本美術家連盟会員、千葉県美術会常任理事

「時の跡、少年」

パネル、ワトソン紙、ムグラウンド下地、鉛筆、アキア、油彩・F30(未完)



1947 兵庫県に生まれる／1970 川田茂に師事 元新美術会会員／1978 二元会出品会員推薦／1979 二元会奨励賞／1980 二元会賞／1983~85 渡米／1992 鈴木賞／1993 桂冠賞・委員に推薦／1997 内閣総理大臣賞 常任委員推薦／2004 東京銀座田中ギャラリーにて個展／2008 ギャラリー大井にて二元会六人展／2009 ギャラリー大井にて二元会五人展、ギャラリー大井にて個展、神戸そごうギャラリーにて個展／2011 銀座 あかね画廊・大津ギャラリー唐橋 視点<鼎の眼>展(以降毎年出品)、神戸そごうギャラリーにて個展／2012 近鉄上本町ギャラリーにて個展／2013 ギャラリー大井にて個展、神戸そごうギャラリーにて個展／2015 あべのハルカスにて個展、神戸そごうギャラリーにて個展／2017 神戸そごうギャラリーにて個展／現在 二元会会長、日本美術家連盟会員、朝日カルチャーセンター講師、生活協同組合コープこうべ生活文化センター講師

「・・・旅人」

油彩・72.7×138.9cm



「人・待望」 油彩、キャンバス・F30

1945 札幌市生まれ／1969 東京芸術大学油画科卒／1971 同大学院修了／1973 国画会新人賞／1976 個展：みゆき画廊('80・'85)／1981 国画会会員推薦／1986 個展：美術ジャーナル画廊('88・'94・'97)／1987 個展：札幌三越('95・'99)／1990 第25回昭和会招待出品／1990 キリスト教美術展招待出品(以降毎年出品)／2002 個展：ギャラリー向日葵('06・'09・'16)／2003 Asian Art Now Prize Award アメリカラスベガス美術館('01・'02)／2009 中野中企画 30人の自画像出品(東京、地方巡回)／2012 個展：白樺画廊(札幌)／2013 個展：ギャラリーあづま／2014 視点<鼎の眼>展(あかね画廊、ギャラリー唐橋 '15・'16・'17・'18)／2016 90回記念国展「90vs90+展」／2016 第40回記念キリスト教美術展(関西学院大学博物館西宮市)／現在 国画会会員、日本美術家連盟会員、キリスト教美術協会会員、朝日カルチャー講師



「白と紅の朝」 油彩・F50

1957 栃木県に生まれる／1979 嵯峨美術短期大学卒業／1999 文化庁在外研修員としてパリに留学('99.9~'00.9)／〔展覧会歴〕1991 安井賞展(セゾン美術館他 '93・'95)／1993 IMA「絵画の今日」展(新宿三越美術館 '95・'97)／1994 個展(あかね画廊、東京)／1995 個展(日本橋三越本店、東京 '02)／1998 個展(高島屋、京都 '01・'06)／2000 個展(ギャラリーエティエンヌドゥコウザン、パリ)／2003 DOMANI・明日展(損保ジャパン東郷青児美術館、東京)／2005 日動展(日動画廊、東京 以後毎年)／2006 個展(高島屋、横浜)／2007 旅展(文化庁主催国立新美術館)、昭和会賞受賞記念個展(日動画廊、東京)／2015 個展(あべのハルカス近鉄本店)／〔受賞〕1987 新制作展 新作家賞('88・'90・'91)／1991 伊藤麻鹿記念賞 賞候補(名古屋日動画廊)／1994 京都市芸術新人賞、ミヤコ版画賞展 都賞(都画廊、大阪)／1995 前田寛治大賞展 準大賞(倉吉博物館、日本橋高島屋)／2005 昭和会展 昭和会賞(日動画廊、東京)／現在 新制作協会会員



「木聖」 カゼインテンペラ、アクリル、金箔、銀箔、キャンバス、パネル・80.3×79.6cm(未完)

1963 神奈川県に生まれる／1987 主体展佳作作家、同'89 会員推薦／1989 武蔵野美術大学大学院修士課程修了 修了制作優秀賞、上野の森美術館大賞展賞候補、銀座大賞展 大賞／1990 安井賞展 同'92、'93 神奈川県美術展 大賞／1993 昭和会展、文化庁芸術インターンシップ研修員~'94、東京セントラル美術館油絵大賞展招待出品 佳作賞／1995 文化庁現代美術選抜美術展(浦添市美術館他巡回)／1998 前田寛治大賞展 日本現代作家作品展(上海美術館 中国)／1999 主体展 安田火災美術財団奨励賞／2004 上海春季芸術沙龍(上海国際展覧中心 中国)／2010 ストーリー・テラズ 小説と絵画展(高島屋東京 名古屋 横浜)／2012 紀伊國屋シリーズ 個展(紀伊國屋画廊)、北海道現代美術展招待出品 同'16(北海道立近代美術館)／2016 ART EXPRESS JAPAN(G・ARTS GALLERY シドニー)／2017 夢想と断想のイマージュ(Bunkamura Gallery)／2018 日本ガラス協会展出品/あかね画廊、ギャラリーアルトン、四季彩舎、色彩美術館、日本橋三越などで個展44回開催、グループ展多数/現在 主体美術協会会員、日本美術家連盟会員、日本ガラス協会会員、武蔵野美術大学教授

<人間>ほど面白いものはない

企画・コーディネイト 中野中

<人間>を描く。それがこの企画展のテーマである。  
<人間>ほど興味尽きない面白いものはないからである。  
肉体があり心がある。すべてを包みこむ身体は見えるが、その内側は見えない。しかし、身体のある表情を通して垣間見え、感じることは出来る。そこにモチーフと描き手の対話が生まれ、格闘することになる。その格闘の痕跡がキャンバスに残される。それが作品である。

ことしはどんな作品に出遭えるであろうか。

(美術評論家)